令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	SR 会		
事業名	子どもの心の居場所づくりと子育て支援活動		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【自由提案部門】		
団体の所在市町村	酒田市	事業費	６４３，３００円
		うち助成金額	５００，０００円
事業実施期間	令和７年６月１３日～令和８年２月２８日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

酒田市では、不登校や不登校気味の児童生徒が年々増加している。休日に開設されている子どもの居場所がない状況にある。学校が休みの日に学校と家庭以外の第三の居場所として、子どもたちの心の居場所を開設する。学習支援と児童生徒のコミュニケーション能力と自己肯定感を高める活動を行う。また、活動時間帯に希望する保護者に子育ての不安を軽減するために個別相談を実施する。子育てや子どもに関する講演会を開催し、保護者の子育ての悩みと不安の軽減を図ることを目的とする。

（実施内容）

① 子育て講演会・研修会を年５回開催した。テーマは不登校、ゲームやスマホ依存の子どものスマホの使い方、子どもとのかかわり方や子育てについて学んだ。
② 子どもの心の居場所づくりの活動を年１７回開設した。東北公益文科大学の学生や社会人ボランティアとともに、学習支援やコミュニケーション能力を高める活動を行った。
③ ラインや電話による個別相談を定期的に行った。
④ 東北公益文科大学の食品ロス削減チームLIGAと連携して子ども食堂と心の居場所を開催した。

① 子育て講演会



②心の居場所づくりと学習支援



事業の成果	保護者アンケートから、どこにも行きたがらなかった子どもが「次回の居場所はいつ？」と聞くようになって、休まず心の居場所に参加した。 子どもが他の小学校との子どもと関わりが持てるようになった。 たくさんの大学生や大人と関わりを持って、人嫌いの苦手意識を軽減できた。 家にいるとメディアばかりなので、心の居場所がメディアから離れる時間になった。 不登校であったが学校に復帰した児童がいる。
今後の展望	子どもの心の居場所づくりは、子どもの将来のためにも継続が必要と思われる。また、子どもたちの自己肯定感を高められる心の居場所になるように改善を図る。そして、不登校の児童生徒の人間関係づくりやコミュニケーション能力を一層育んでいきたい。 個別相談や子育て講演会を通して、保護者の子育ての悩みや不安の軽減を図る。 庄内教育事務所や庄内総合支庁こども支援課などの県の機関との協働や他団体との連携を深めて、充実した活動ができるようにする。

③ 個別相談



④子ども食堂



団体概要

団体名　SR会

代表者　歌川　裕

URL　http://sr-kai.hatenablog.com/

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	子どもの心の居場所づくりと子育て支援活動
団体名	SR会

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	500,000	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入	89,500	講演会・研修会・子どもの心の居場所づくり500*179
その他収入		
自己資金	53,800	
合計	643,300	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金	145,000	講師謝礼25000*5+20000*1
旅費	45,200	講師交通費5000*3+1000*3　ボランティア交通費400*68
印刷製本費	102,691	案内チラシ・講演会資料印刷インク
消耗品･材料購入費	20,709	教材
通信運搬費	10,230	郵送料　切手
保険料	9,520	行事保険（ボランティア）28*20*17
使用料	84,410	酒田市総合文化センター　泉学区コミュニティ防災センター　借用代
人件費	204,000	アルバイト代金　3000*68
(委託費)		
(備品購入費)		
(修繕費)		
菓子･雑貨	21,540	茶菓子
合計	643,300	